平成29年11月20日発行（毎月1回20日発行）

ふるさとへの思いと絆をつなぐ広報誌

11 2017 November No.78 ふるさとだより

久之浜・大久、四倉、平、小名浜、勿来

「トリック オア トリート！」元気に響く合言葉　久之浜ハロウィン

表紙から Message

10月15日、3回目となる「久之浜ハロウィン」が賑やかに開催されました。前日からの雨の影響で、仮装をしてのまち歩きは中止となってしまいましたが、思い思いに仮装した子どもたちであふれかえった会場の久之浜・大久ふれあい館講堂に元気で楽しそうな声が響きました。

久之浜 大久

各地区トピックス

四倉

三宝保育園で運動会

平

田んぼの学校で稲刈り

小名浜

永崎保育所運動会

勿来

防災緑地に苗木を植樹

ふるさとだよりの記事が動画で!!

マークのある記事にスマホやタブレットをかざすと動画が見られます！（見方はP8）

地域とともに生きる

復興・久之浜漁港まつり実行委員長
江川 章（あきら）さん

魚を通じて町が一体となって復興へ

震災で中断していた久之浜を代表するイベント「漁港まつり」が、昨年「復興・久之浜漁港まつり」として6年ぶりに実施することができました。雨の中、訪れてくれた多くの方に「やっぱり久之浜は魚の町」と再確認してもらえたのではないかと思います。町の活性化のため、町民一丸となって盛り上げていきたいですね。

現在、市漁協組合長も務めておりますが、今年9月から沼ノ内支所魚市場が再開し、競りもスタートしました。本格操業に向けて、一歩一歩前進していくことを望んでいます。

10月29日開催の復興・久之浜漁港まつり大抽選会で、当選番号を発表する江川実行委員長（中央）

ふるさとの未来へ向けて

いわき伝統野菜 じゅうねんを育て食べよう

土地の気候風土に適応し、長く受け継がれ栽培されてきた伝統野菜。久之浜二小では、本年度の総合学習の一環で、いわきの伝統野菜について学ぶため「大久じゅうねん（エゴマ）」の栽培を行ってきました。5月に全校生でまいた種が順調に育ち、10月20日、大久じゅうねん保存会により刈り取られたのち、児童たちの手で茎と種に仕分けされました。今後は、12月の授業参観の際に、じゅうねんを利用した料理の調理・試食が行われる予定です。

体育館に運ばれたじゅうねんを茎と種に仕分けする児童たち

私たちのふるさとへの願い

西町 遠藤善茂さん

北町 木村麻衣さん

久之浜・大久ピックアップ

久之浜一小学習発表会

10月21日、久之浜一小学習発表会が開かれました。劇、楽器演奏や総合表現の発表のほか、全校生と職員全員で「たしかなる風・ふるさと久之浜」を合唱しました。

会場全体に響き渡るふるさとへの思い

秋晴れの下 コスモス祭

10月8日、満開のコスモスに彩られた第11回西町コスモス祭。会場となった大久川河川敷ふれあい広場には、屋台が立ち、ステージイベントも行われました。

会場を取り囲む満開のコスモス

久之浜保育所運動会

10月7日、久之浜保育所の運動会が行われました。雨天のため久之浜一小体育館での開催となりましたが、元気いっぱい、お遊戯やかけっこなどをしました。

障害物競走に挑戦し、元気にゴール

ふるさとの未来へ向けて

花と緑で潤いのあるまちづくり

10月12日、四倉地区住みよいまちづくり推進協議会による「第5回よつくら花いっぱいコンクール」表彰式が、四倉支所で開かれました。今年は12団体が応募し、花壇の手入れ具合や、草花の彩りなどを審査した結果、県道35号沿いの花壇でマリーゴールドやサルビアなどを育てた白岩サロンが最優秀賞に輝きました。

コンクールの主催者と参加団体のみなさん

地域とともに生きる

いわき市青少年育成市民会議
四倉地区推進協議会長
鈴木 英雄さん

子どもたちの健全な育成に取り組む

会長になって6年が経ちました。四倉地区に限ったことではありませんが、子どもの数が減っていて、町なかでも元気な声があまり聞こえないのを、とても寂しく感じます。四倉地区推進協議会では、事務局がある四倉公民館で、7月は夏休み子ども祭りの開催や、1月には地区の小中高生による意見発表会などを行っています。中学校での教員生活で得た経験を生かしながら、地域の活性化のためにも、四倉を挙げてさまざまな行事を計画して、子どもたちの健全な育成に努めたいと思っています。

昨年12月28日、公民館の親子もちつき会で、参加者ともちをつく鈴木さん(左前)

私たちのふるさとへの願い

施設長 猪狩さん 施設長補佐 佐藤さん

八日十日　面川さん夫妻

四倉ピックアップ

ともに歩んだ50年を祝う

10月19日、四倉地区敬老会がいわき海浜自然の家で行われ、髙倉敏彦・ケイ子さん夫妻、面川貫一・喜代子さん夫妻ら16組が、金婚夫婦の表彰を受けました。

金婚夫婦の市表彰を受ける髙倉さん夫妻

四倉小学習発表会

10月14日、四倉小で学習発表会が開かれ、各学年ごとに劇、体育、合唱・合奏などを披露し、児童たちの熱演に、保護者席からは大きな拍手が送られました。

6年生が熱演した劇「走れメロス」

三宝保育園運動会

荒天で延期になった三宝保育園の運動会が10月14日、行われました。園児たちは小雨模様のなか、元気いっぱいにつなひきや玉入れ、紅白リレーなどに取り組みました。

元気いっぱいにかけ出す園児

地域とともに生きる

豊間地区消防団員
大峯 祐規さん

親から子へ伝統をつなぐ

豊間生まれの豊間育ち。市内の高校を卒業後は、専門学校に進み、現在は、スポーツインストラクターを務めています。震災前は地元の消防団や青年会に所属して、豊間地域に伝わる獅子舞を守ってきました。今年から小2の長男が獅子舞の太鼓を叩き、親子で地元の獅子祭りに参加できました。家族と一緒に地域イベントに参加できることが楽しみです。町の整備が進んだことで、地元を離れていた友人が帰ってくると聞きました。子どもたちが多くなり、以前のような賑わいが戻って欲しいです。

「田んぼの学校」で長男快人(はやと)くんと参加する大峯さん(左)

ふるさとの未来へ向けて

豊間地区「田んぼの学校」で稲刈り

刈り取った田んぼの前で記念撮影

10月8日、豊間地区にある浄応寺前の田んぼで区主催の「田んぼの学校」が行われ、児童15名のほか、福島大学の学生ボランティア、保護者、区役員など、約40名が参加して、稲刈りが行われました。

前日に降った雨で田んぼはぬかるんだ状態でしたが、ずっしりと頭を垂れた稲穂を皆で力を合わせて刈取りました。稲刈りの後は、保護者や学生ボランティアが作ってくれたおにぎりに舌鼓。次回は収穫祭が予定されています。

私たちのふるさとへの願い

沼ノ内　鈴木さんご夫婦

豊間　田山光子さん

平ピックアップ

県道の一部が通行可能に

10月16日、県道豊間・四倉線の豊間地区の諏訪川橋梁を含む280mの一部が交通開放され、兎渡路(とどろ)と旧下町を結ぶ県道が通行可能になりました。

住民の待ち望んだ諏訪川橋の開通

薄磯地区の権現様祭り

10月15日、薄磯地区で権現様祭りが行われました。修徳院に朝早くから地域住民が集まり、ご神体や梵天などを作り、里山と地区内の祠(ほこら)にお参りをしました。

お経を唱えながら祠に向かう参加者

豊間アカデミー再開

10月11日、豊間小PTA主催で行われている豊間アカデミーの英語教室が始まり、16日には体操教室も再開しました。12月6日までの間に英語は8回、体操は4回開催します。

英語教室で楽しく学ぶ児童たち

ふるさとの未来へ向けて

江名の魅力を発信！

10月15日、江名港周辺で「第4回海あるき町あるき江名の町再発見」が開催されました。参加者は、レジャーボートに乗船して港内を見学したり、スタンプラリーをしながら町を散策。また、サンマ焼き体験やステージショーも行われ、会場は大いに盛り上がりました。

今年も江名のお母さんたちによる「江名のおばちゃま食堂」がオープン

旬のサンマ焼き体験コーナーでは、1,000匹が無料配布され大賑わい

地域とともに生きる

江名の町再生プロジェクト
会長
坂本 勝吉さん

江名の町の魅力を発信するために

私は小名浜の町なかで自動車整備販売業を営んでいて、江名にあった自宅が震災で津波被害に遭いました。そんな状況でしたが「江名を活気づけるために何かできないか」と思い、平成26年から始まった「海あるき町あるき江名の町再発見」に協力しました。その後入会し、会長になって3年目になります。

今年は、NEXCO東日本が企画しているスタンプラリーに合わせてイベントを開催し、多くの人が来場してくれました。これからも継続して実施し、活気を取り戻したいと思っています。

10月15日に行われたイベント「海あるき町あるき江名の町再発見」のタイムスケジュールや内容について話し合う坂本さん（奥左）

私たちのふるさとへの願い

永崎川畑　秋山和夫さん

下神白館ノ腰　服部陽一さん

小名浜ピックアップ

フラダンスで元気に

10月10日、市公営住宅永崎団地集会所に、東京からフラダンスグループ「TOKYO BAY OHANA（トウキョウ ベイ オハナ）」のみなさんが訪れ、全6曲のフラダンスを披露しました。

素敵なフラダンスで来場者を魅了

親子で魚釣りに挑戦！

10月9日、江名港で第11回ニュースポーツ大会が行われ29組が参加。2人1組となり、釣った魚のうち3匹の総重量を競うもので、参加者は大物釣りに挑みました。

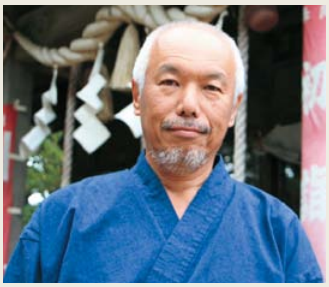
総重量540gで優勝した吉田さん

永崎保育所運動会

9月30日、永崎保育所で運動会が行われました。園児72名は、かけっこや団体競技、親子競技等に元気いっぱい取り組み、保護者から大きな拍手が送られました。

盛り上がった親子騎馬戦

地域とともに生きる



植田八幡神社
宮司
宮川 千春さん

地域の集い場を目指し、復旧に取り組む

神社が高台にあるため、震災時は避難された方々の受け入れを行っていました。少し落ち着いてからは、被害を受けた鳥居や境内の法面など、自分でもできる限り、修復作業を進めてきました。

そして、今年9月には仮社殿が竣工し、歪んでしまった本殿の本格的な修復工事を開始。完成までは約2年を費やしますが、その後は震災で途絶えてしまった地元の小学生による「浦安の舞」奉納などを復活させ、この神社に集うことで、ふるさとを実感できるような行事も行っていきたいと考えています。

被災した収納庫を修復するため、自ら木材を裁断する宮川さん。背後に見えるのは、竣工した仮社殿

ふるさとの未来へ向けて

岩間町防災緑地で植樹祭を開催

雨が降りしきるなか、植樹をする親子。里親や地域住民など、約200名が参加

10月22日、「岩間町防災緑地植樹祭&ドングリ採取・ウォーク」が行われました。

NPO法人勿来まちづくりサポートセンターが地元でドングリを採取し、里親などのもとで約3年間大切に育てられてきた苗木が、岩間町で整備が進む防災緑地に植樹されました。

当日はあいにくの荒天により、ドングリ採取・ウォークは中止となってしまいましたが、ドングリから発芽させたコナラやクヌギなどの広葉樹の苗木、約1、350本が植樹されました。

私たちのふるさとへの願い

勿来町関田　秋元政明さん

大倉保育園 赤津園長(中)と教職員

勿来ピックアップ

美しい音色で来場者を魅了

10月15日、吹風殿(すいふうでん)で「秋風と管楽の響き～サクソフォーン・アンサンブルの調べ～」が行われ、IBCサクソフォンアンサンブルのみなさんによる演奏が披露されました。

アンコールの声もあがり全9曲を披露

茶道で和やかに交流

10月15日、小浜公民館に新潟県のNPO法人おぢや元気プロジェクトのみなさんが訪れ、「小浜茶会」を実施。参加者は、目の前で点(た)てられた抹茶を味わいました。

見事なお点前(てまえ)が披露された茶会

秋の実りを収穫

10月8日、山田町の「田んぼアート」の稲刈りが行われました。収穫米は、田植えと稲刈り作業の参加者に配られたほか、大倉・植田・東田の3保育園に寄贈されました。

丁寧に手作業で稲を刈り取るスタッフ

ふるさとダイアリー

四倉　四倉中でスポフェスと白銀祭

9月26日、四倉中でスポーツフェスティバルが開かれ、生徒たちは優勝を目指して玉入れやクラス対抗リレーなどに取り組みました。10月21日には白銀祭が開かれ、午前中は課題曲と自由曲を歌う合唱コンクール、午後は空手、ダンス、生徒たちが作った映像作品の発表などがありました。

合唱で最優秀賞受賞の3年3組

クラス全員で力走したリレー

平　豊間小学習発表会

10月7日、豊間小で学習発表会が行われました。1・2年生は劇、3・4年生は方部音楽祭で演奏した「天空の城ラピュタ」を寸劇とともに披露しました。5年生は、とび箱・なわとび・ダンスなどを音楽に合わせて発表し、6年生は歴史を学ぶ劇を演じ、最後に全校生で「みんながみんな英雄」を合唱しました。

1・2年生の劇「よろしくニンジャ」

3・4年生の音楽劇

勿来　謎を解いて町を散策

10月1日、復興公営住宅が整備される勿来町酒井地区周辺で「なこそまちあるき『くぼたんけん』」が開催されました。近隣の施設などを巡りながら地区の魅力を再発見することを目的に、地域住民や双葉町民などが参加。ヒントを頼りに各チェックポイントを回り、ゴールを目指しました。

復興公営住宅の建設地も視察

歩いた感想をもとに地図を制作

小名浜　子どもたちの心を癒すために

10月16日、江名中で永崎女性の会の「絵本の読み聞かせ研修会」が行われました。平成26年から永崎小で読み聞かせを行ってきましたが、江名中からも依頼を受け、会員のスキルアップを目的に実施。矢祭町で活動をしている「手のひらの会」の郡司浩子さんを講師に、絵本の選び方や読む時のポイントなどを学びました。

郡司さんの指導を受けるメンバー

日頃の練習の成果を発表

10月21日、永崎小と江名小で学習発表会が行われました。永崎小は1年生の開幕劇でスタート。また、江名小では伝統芸能の三匹獅子舞も披露され、大きな拍手が送られました。

息の合った演技を披露した5年生

6年生が熱演した劇「涙そうそう」

久之浜・大久　立川志らく落語会と茶話会

10月7日、おでかけアリオス・立川志らく落語会が久之浜・大久ふれあい館講堂で開かれ、約200名の聴衆が真打の話芸を楽しみました。

終演後に行われた久之浜・大久地域づくり協議会主催の茶話会では、久之浜名物の柏餅が準備され、志らくさんと楽しく交流していました。

演目は古典落語「紺屋高尾（こうやたかお）」

志らくさん（中央）との記念撮影

いわき市ふるさとだより
No. 78
平成29年11月20日発行
●発行:いわき市 ●編集:有限会社 いまぁじゅ ふるさとだより編集室
●編集室:〒973-8411 福島県いわき市小島町3丁目3-3 プリンセス・アイ1F
Tel&Fax:0246-26-5157
Mail:furusato@asally.co.jp http://www.furusatodayori.com

お知らせ

「被災地スタディツアー」と「震災語り部募集」のお知らせ

市では、震災から6年が経過したいわきの“今”を多くの皆様に知っていただくとともに、東日本大震災を教訓に、災害からの復興と防災を学ぶ、被災地スタディツアーを催行しています。津波で大きな被害を受けた沿岸地域や、避難指示が出された楢葉町や富岡町等を視察した後、いわき市の「震災語り部」による講話を聞くことで、震災についてもう一度考えていただくバスツアーです。

◆対象　市内・市外の方どなたでも参加可能
◆日時　毎週土曜日
◆震災語り部募集
被災地スタディツアーや視察等で、ご自身の震災の経験をお話いただく「震災語り部」を募集しています(報酬あり)。震災の記憶を後世に残すために、震災語り部活動にぜひ御協力ください。

復興事業が進む薄磯地域を見学する被災地スタディツアーの参加者

久之浜地域で震災当時の様子を説明する「震災語り部」(最左)

【問い合わせ】
いわき復興支援・観光案内所　☎0246-80-2051
URL:http://iwaki-revival.com/
市観光交流課　☎0246-22-1292

ふるさと伝言板

第12回中之作漁港朝市

日時／12月16日(土)
7:00～
場所／中之作魚市場

空き家と住まいの相談会

日時／12月16日(土)
13:00～16:00
場所／植田公民館1階講堂
◆完全予約制
申し込みは下記まで
【予約・問い合わせ】市住まい政策課
☎0246-22-1178

住まいと暮らしの再建相談会

日時／12月17日(日)
①10:00 ②13:00
③15:00 (各90分程度)
場所／市労働福祉会館
大会議室1
定員／9組(各時間3組)
◆お申し込みは開催日の3日前まで
【問い合わせ】市ふるさと再生課
☎0246-22-7437

ふるさとPICK UP

いわきの文化遺産を守る活動を紹介

市石炭化石館では、「時を超え伝えたものを、守り、伝える － 東日本大震災といわきの歴史資料レスキュー」を11月30日まで開催中です。学芸員や郷土史家、学生ボランティアなどが、地震や津波で被災した建物から古文書や古民具などの歴史資料を救出する様子などを紹介しています。

救出された古民具なども展示

砂子田団地「災害に備えて講話と訓練」

10月15日、内郷砂子田団地集会所で市社会福祉協議会主催の「災害に備えて講話と訓練」が内郷消防署の協力で行われ、団地住民56名が参加しました。火災時の緊急電話のかけ方や消火器の使用法などを消防隊員から学んだ後、屋外で消火器の実習をしました。

水消火器を使った消火実習

担当記者が振り返る「ふるさとだより」のあゆみ

～平成25年度:久之浜・大久地区担当　鈴木伴栄～

多くの方と出会い、話を伺い、様々な現場に足を運びました。浜風商店街のみなさんに同行し、塩釜・石巻への視察の様子を取材。防災緑地の設計ベース案が完成し、災害公営住宅工事着工、震災復興土地区画整理事業の起工式、沖合底引き網の試験操業が開始されたのはすべてこの年で、震災からの復興へ向けた着実な歩みを実感した1年でした。

次号は、勿来地区の担当がお伝えします。

平成25年11月号の表紙

塩釜・石巻視察の様子(当時)

動画の見方

①アプリをダウンロード

Download on the App Store
GET IT ON Google Play

②アプリを立ち上げ、パンダマークのある写真にスマホをかざす。
③自動的にスキャンが始まる。
④認識されたら、動画を再生。

※画像に光が反射しないようにスキャンしてください！